ひょうご事業改善レビュー対象事業の選定

■実施内容

フォローアップ型（R5レビュー対象30事業）について、各部局の自己評価等に対して、各委員がモニタリングを実施

（自己確認結果等はレビューシートとしてホームページで公表
※URL：https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk23/jigyoukaizenrebyu0.html）

■レビュー対象事業

本レビュー推進部会において、今年度レビュー対象事業（計３事業）を決定

■好事例の横展開等

レビュー対象事業のうち、好事例として横展開する事業（表彰事業）を外部委員会にて決定

③フォローアップ型（３事業）

No.	部局名	事　業　名
1	県民生活部	企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実
2	保健医療部	民間活力を活用した職場の健康づくり支援
3	産業労働部	モデルプロジェクトの継続性向上

区分	R8対象	【参考】R7対象	実施内容
・フォローアップ型	R5レビュー事業を対象	R4レビュー事業を対象	事業改善状況の自己評価及びR5レビュー対象事業のフォローアップ（外部委員会のモニタリング）を実施

フォローアップ型（R5事業改善レビュー対象事業一覧）

▶赤字は外部委員会評価対象事業

No.	部局名	事　業　名
① より効果的・効率的な事業内容等への見直し（14事業）		
1	県民生活部	企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実
2	福祉部	効果的なPR等による「子ども食堂」の普及促進
3	福祉部	関係団体との連携による農福連携の充実
4	福祉部	介護福祉士増加に向けた代替職員の確保策
5	福祉部	認定こども園移行補助の更なる活用に向けた方策
6	保健医療部	骨髄提供しやすい職場環境づくりの推進
7	産業労働部	男性育休の取得に向けた制度の利用促進
8	産業労働部	小規模事業者への海外事業展開支援
9	産業労働部	地方空港のネットワーク化推進
10	農林水産部	非住宅分野での木材利用促進
11	環境部	地域主導による再エネ導入に向けた支援の充実
12	環境部	農業被害の軽減に向けたイノシシの捕獲の推進
13	まちづくり部	高齢者世帯の住宅耐震化の促進
14	教育委員会	兵庫の防災教育の推進

No.	部局名	事　業　名
② 民間等との協働・民間活力の活用（７事業）		
15	企画部	民間活力の活用による首都圏等での移住促進セミナーの強化
16	保健医療部	民間活力を活用した職場の健康づくり支援
17	保健医療部	効果的な説明会の実施による医師の地域偏在の是正
18	産業労働部	理工系人材と県内企業とのマッチング支援
19	産業労働部	モデルプロジェクトの継続性向上
20	教育委員会	企業等との連携による児童生徒の体力アップ支援の充実
21	教育委員会	民間活力を活用した特別支援学校就職支援の取組強化
③ 県民等の利便性の向上（４事業）		
22	福祉部	ｵﾝﾗｲﾝ技術を活用したDV被害者相談の実施
23	福祉部	障害者差別に対する事業者の意識向上
24	保健医療部	ＳＮＳ等を活用した感染症検査受付による利便性向上
25	教育委員会	インターネット出願システムの開発
④ 複数事業間の連携（５事業）		
26 27 28	危機管理部	地域防災力のレベルアップ ・ひょうご防災リーダー活動推進事業 ・防災人材育成拠点を活用した防災研修事業 ・消防団活性化支援事業
29 30	農林水産部	新規就農者等の初期投資支援策の適正化 ・農業施設貸与事業 ・経営発展支援事業

委員会評価対象事業（3事業）

■企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実

事業概要

女性活躍推進センターを設置し、職場の意識改革や女性の登用促進、働きやすい職場環境整備等を行う企業への支援を実施

R5レビュー意見・改善状況

・トップセミナーを開催し回数を指標にすべき
・事例紹介企業が限定化、更なる好事例の共有や地方の中小企業での取組を発信すべき
・ミモザ企業と認定される事のメリットを設定すべき

・女性活躍推進専門員を１名増員、市町・団体等と連携しトップ等が対象のセミナーを実施し、働きかけを強化するとともに、開催回数をアウトプット指標に追加
・各地域のセミナーでは、手本となる地域内企業の事例発表を実施
・学生とミモザ企業のマッチング促進事業で、学生によるSNS投稿や大学への出前講座等により、認定企業の好事例を発信
・ﾌﾚｯｼｭﾐﾓｻﾞ企業の区分を新設し、ミモザ企業認定に向け育成支援

外部委員コメント

・企業トップの意識改革が重要である中、経営者向けセミナーの制度化やセミナー開催回数をアウトプット指標化するなど、企業トップの意識改革への働きかけ強化に取り組んできたことは評価できる。
・企業同士の学びあい、業界ごとの取組みの勉強会なども行えると業界全体の推進にもつながると考える。
・関係部局横断で連携し、企業への働きかけを一体的に行うことで、限られた専門員リソースの効果を最大化することを期待したい。

委員会評価対象事業（3事業）

■民間活力を活用した職場の健康づくり支援

事業概要

健康づくりチャレンジ企業が主催する健康づくりに関する研修会や運動教室に専門家（栄養指導・運動指導・生活指導等）を派遣することで、働き盛り世代の健康づくりを推進する。

R5レビュー意見・改善状況

・多様な働き方に対応するため、ハード面の支援からソフト面の支援へ転換するべき
・企業内の健康づくりをサポートしている事業者との連携など民間活力の活用も検討
・企業の職員がいかに健康になったかを測れるアウトカム指標の設定を検討

・企業が主催する従業員向けの健康づくりに関する研修会等への講師派遣に支援内容を変更
・民間活力を活用し、公募等により選定した健康づくりをサポートしている事業者に講師派遣を委託
・アウトカム指標に「週１回以上運動する人の割合」を設定

外部委員コメント

・R5年度外部評価意見を踏まえ、健康づくり機器購入補助によるハード支援から、健康づくり研修会への講師派遣によるソフト支援へ事業を見直したことは評価できる。また、民間事業者を活用した実施体制への転換により、利用実績も大幅に増加しており、企業ニーズに沿った事業改善が図られている。
・今後は講師派遣事業所数などの活動実績だけでなく、受講者の行動変容や健康状態の改善など、事業効果をより適切に把握できる指標の充実に努められたい。

委員会評価対象事業（3事業）

■モデルプロジェクトの継続性向上

事業概要

R6から、ひょうごTECHｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄに統合。県内外のスタートアップ等が有する革新的技術を活用して社会課題の解決を図るとともに、IT人材を育成する

R5レビュー意見・改善状況

・ひょうごTECHｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄへの統合は適切な検討の方向性ではないか
・採択プロジェクトの計画に対する達成度を図るアウトカム指標を設定すべき
・うまくいった事例について、同じ課題を有する他の地域への横展開を検討すべき

・地域IT人材育成事業をひょうごＴＥＣＨイノベーションプロジェクトに統合して実施
・「採択プロジェクトの計画に対する達成度を図る指標」として、公共調達率を設定
・県内外の横展開イベントを通して、他の地域における公共調達を促進(令和7年：5回)

外部委員コメント

・事業統合、予算の効率化や、実証実験を公共調達につなげている点は評価でき、高い費用対効果が認められる。
・統合後は実証実験にとどまらず、公共調達や他自治体への横展開までを支援する仕組みが構築され、公共調達率や横展開機会提供企業数は目標を大きく上回るなど、事業成果の社会実装が進展している点は高く評価できる。
・自治体調達後の民間展開や他自治体への横展開など「第2の販路」開拓に向けた伴走支援を強化し、企業の持続的な成長を後押しすることも重要。

外部委員会の開催について

■外部委員会の開催

①　日程

下記の日程で実施（オンライン開催）

８月21日（金）15：00～17：00

10月～11月　事後委員会実施

②　外部委員会の進め方

ア　事業課へのヒアリング	25分×３事業	・所管課による事業説明　５分 ・ヒアリング　15分 ※所管課はここまで ・ヒアリング振り返り　５分
イ　表彰事業の決定	25分	・３事業のヒアリングを踏まえ、合議等にて決定
ウ　表彰名の決定	５分	・表彰事業の決定に伴い、表彰名の決定

■外部委員会 委員（６名）

氏名（◎：委員長）	役　職　等	委員就任
◎上村　敏之	関西学院大学経済学部　教授	R4～
小田垣　栄司	株式会社ノヴィータ　相談役	R4～
瀧井　智美	株式会社ICB　代表取締役	R4～
福田　直樹	兵庫県立大学大学院　社会科学研究科経営専門職専攻　准教授	R4～
別府　幹雄	株式会社電通総研　シニアプロデューサー	R4～
中尾　志都	公認会計士	R6～